



寒くなってまいりました

落ち葉舞い散る季節となりました。3年生は進路達成に向けて、遅くまで先生方の指導を受けている姿が見受けられました。演劇部は県高校演劇コンクール優秀賞となり、12月に岩手県で行われる東北大会に出場します。



宮城県家庭クラブ研究発表大会に参加して

渡辺 香凜（1年・名取一中出身）

半澤 日和（1年・富沢中出身）

私たちは10月29日に名取高校で行われた宮城県高校家庭クラブ連盟研究発表大会に、発表補助員として参加しました。

本校の家庭クラブ委員会は「グリーンコンシューマーになろう」をテーマとして研究発表を行い、最優秀賞をいただきました。



家庭クラブ委員会では「レジ袋削減の取り組み」と「東北コットンプロジェクトを通じた消費者教育」を中心に活動してきました。ポスターの掲示や家庭クラブ通信の発行、昼の放送による呼びかけをすることで、名取北高生のグリーンコンシューマー（環境を意識した消費者）としての意識が高まったものと思います。

宮城県大会では活動の成果をまとめ、良い発表を行うことができました。12月に行われる東北大会ではさらに研究を深め、全国大会に出場できるよう頑張ります。

宮城県高等学校書道展覧会入賞

第69回宮城県高等学校書道展覧会が行われ、本校書道部8名全員が入賞し、神尾しゅうさん（3年白石東中出身：写真左）・黒田陽太さん（2年吉田中出身：写真右）の作品が「推薦」に選ばれました。

書道部の活動と入賞について

阿部 ララ（1年・中田中出身）

今私たち書道部は、3年生4名、2年生1名、1年生3名の計8名で活動してきました。6月からこれまで、作品展や東北書道会への出品を通して、自分の字と向き合い、個々の技術を磨いてきました。また、8月の末に行われた書道パフォーマンスでは全員が心をつなげて、書道部なりの「青春」を全力で表現しました。コロナ禍で文化祭は中止になってしまいましたが、全校生徒の皆さんに少しでも想いが伝わっていると嬉しいです。

そして今年の宮城県高等学校書道展に出品した作品は、推薦が2名、特選が4名、金賞が1名、入選が1名と全員が入賞することができました。私は入部して初めて入賞し、うれしさと共にやりがいを感じることができました。

書道部の活動は、沢山の方々に支えられて、御協力をいただいているのだと感じており、感謝の気持ちでいっぱいです。これからは新体制となりますが、穏やかな部活動の雰囲気は継承して、支えていただいている方に恩返しできるように技術を高めていきたいと思っています。



家庭基礎の授業で「ジラス」見学へ

1年生の家庭基礎の「住生活分野」の学習の一環として、ライフスタイルに応じた「住まい」の現状について学ぶために、北高の近くにある「なとりりんくうタウン総合住宅展示場」を見学しました。各クラスの見学に際し御協力いただいた展示場職員の皆様、ありがとうございました。

住宅展示場を見学して

平泉 大貴（1年・柳生中出身）

11月13日、家庭科の授業で住宅展示場「ジラス」へ見学に行きました。私は、一条工務店の家が最も印象に残りました。その家に入って真っ先に感じたのは「暖かさ」です。事前調査で全室床暖房は知っていましたが、これほどとは思いませんでした。そのほかの機能として、4重窓による音断熱や17段という通常より段差を多くして登りやすくした階段、地盤に合わせた建築方法など、見えない部分での工夫が数多くありました。住まいの奥深さを知るきっかけとなりました。

コロナ禍に関わらず見学の許可をいただいた展示場の関係者の方々に感謝します。

今回は、十一月で任期を終えられる英語科常勤講師の**後藤麻衣**先生をインタビューしました。後藤先生は、ジスク会実先生の育休代替の講師として、四月から名取北高にお勤めいただきました。先生は、お米の美味しい登米市出身で岩沼市在住、小学校から大学まで吹奏楽部に所属し、サックスやホルン、トランペットを担当していたとのこと。大学を卒業後、別のお仕事に就かれましたが、教員への想いが強くなり、教員を目指していらっしゃいます。

常勤講師 後藤 麻衣 先生

Q 教員の仕事の楽しさや魅力は？

毎日が奇想天外！なところでしょうか。

Q 日頃から心がけていることは？

前向き、笑うこと、よく食べ、よく寝ることです。

Q これから取り組みたいことや目標は？

いろいろありますが、バックパッカーで外国を放浪してみたいと思っています。

Q 北高生の印象は？

「恥ずかしがり屋」という印象でしたが、とても明るく優しい印象に変わりました。

Q 北高生にメッセージを！

思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから。言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから。行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから。習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから。性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから。

これはマザー・テレサの有名な言葉です。私も気をつけていきたいと思っています。短い間でしたがありがとうございました。

後藤先生のご指導ありがとうございました。

保健講話・消費者教育講話が行われました

保健講話（2・3年生）、消費者教育講話（3年生）を実施しました。「大人への一步」として、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

保健講話を受講して

菅野 楓香（3年・富沢中出身）

11月17日に養護教諭の加藤尚子先生を講師として保健講話が行われました。DVやセクシャルについての問題が取り上げられ、とても考えさせられる1時間でした。

講話を受ける前は、男性からのDV被害がほとんどという印象を持っていました。しかし、女性からもLINEのチェックや金銭の要求などといった暴力面以外でのDV被害があるということを知り、とても驚きました。また、いきすぎた愛情表現が、相手を支配してしまったり、周りが見えなくなったりしてしまうことが分かりました。



自分自身だけでなく、友人が被害者や加害者になった時には、早めに相談にのり、止められるようになりたいと思いました。改めて、個々にその人らしい自由な生き方をする権利があり、その人らしさを否定してはいけなく考えるきっかけになりました。自分の感情だけで相手を見るのではなく、相手を尊重することを忘れず、良い人間関係を築いていきたいと思っています。

自分自身だけでなく、友人が被害者や加害者になった時には、早めに相談にのり、止められるようになりたいと思いました。改めて、個々にその人らしい自由な生き方をする権利があり、その人らしさを否定してはいけなく考えるきっかけになりました。自分の感情だけで相手を見るのではなく、相手を尊重することを忘れず、良い人間関係を築いていきたいと思っています。

消費者教育講話を受講して

畠山 瑠乃（3年・西多賀中出身）

金融広報アドバイザーの進藤恵美さんにご講話をいただきました。2022年に成人年齢は18歳に引き下げられます。それにもとない、私たちは19歳の4月に一斉に成人になります。今回の講演では「成人するとはどういうことなのか」「どのような責任が課せられるのか」を詳しく教えていただきました。

中でも私が最も印象に残ったことは、「契約」の意味についてです。普段何気なく行う買い物も一種の契約なのだを知り、消費者として責任を持った行動が必要だと感じました。もしも、困ったことがあった時には、お金を払って泣き寝入りするのではなく、消費相談センターに相談すべきだと学びました。



まもなく成人になる私たちは、自分の判断に責任を持たなければなりません。

今回の講演で学んだことをこれからの生活に生かしていきたいと思っています。

12月の行事予定 2日(水)薬物乱用防止教室(1年) 4日(金)・5日(土)共通テスト模試(3年希望者)

23日(水)4時間授業・午後閉講式 24日(木)・25日(金)・28日(月)冬期講習(希望者)